

7. 受賞等

ここでは、気象研究所の職員が令和6年度に他機関から受けた表彰、及び取得した学位の一覧を掲載している。

受賞には、受賞者の氏名、賞の名称、表彰した機関名、表彰年月日を掲載している。

学位取得には、学位取得者の氏名、学位名、学位授与大学、取得年月日及び学位取得の対象となった論文名を掲載している。

7.1. 受賞

大臣表彰

石井 雅男、令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰、科学技術賞（研究部門）、令和6年4月
加藤 輝之、廣川 康隆、令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰、科学技術賞（開発部門）、令和6年4月

石井 雅男、第17回海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰、令和6年7月

学会賞、論文賞

飯田 洋介、小嶋 惇、石井 雅男、Journal of Oceanography Most Cited Paper Award、日本海洋学会、令和6年4月

小寺 祐貴、日本地震学会若手学術奨励賞、日本地震学会、令和6年8月

関山 剛、レーザセンシング学会論文賞、レーザセンシング学会、令和6年9月

高坂 裕貴、古林 慎哉、原田 やよい、小林 ちあき、直江 寛明、吉本 浩一、原田 昌、後藤 尚親、千葉 丈太郎、宮岡 健吾、関口 亮平、出牛 真、釜堀 弘隆、仲江川 敏之、田中 泰宙、徳広 貴之、佐藤 芳昭、松下 泰広、大野木 和敏、気象集誌論文賞、日本気象学会、令和6年12月

楠 研一、足立 透、AI・データサイエンス論文賞、土木学会、令和6年12月

7.2. 学位取得

小野 耕介

学位：博士（理学）（北海道大学、令和6年9月25日）

学術論文：Multiscale Relative Nonlinearity in High-Resolution Forecasts for a Mesoscale Convective System（メソ対流系の高解像度予測における多重スケールの相対的非線形性）

8. 研究交流

ここでは、気象研究所の職員が令和6年度に外国出張等により出席・参加した海外で行われた国際会議・研究集会・講演、気象研究所が令和6年度に他機関から受け入れた研究者、及び海外研究機関からの来訪者の一覧を掲載している。

8.1. 外国出張等

- | | |
|-------|--|
| 足立光司 | <ul style="list-style-type: none"> ・ AOGS2024 会議参加, 韓国・平昌, R 6.6.24~28 ・ 香港における大気観測及び打ち合わせ, 中国・香港, R 6.7.15~18 ・ 北極圏の雲・放射メカニズム解明に資するエアロゾル観測, ノルウェー・オスロ/ニールスン, R 6.8.17~9.1 ・ 第 16 回大気化学と地球汚染に関する委員会 (iCACGP) 第 18 回地球大気化学国際協同研究計画 (IGAC) 合同会議, マレーシア・クアラルンプール, R 6.9.8~15 ・ ASIA-AQ 観測サイエンスミーティング参加, マレーシア・バンギ, R 7.1.19~24 |
| 幾田泰醇 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 欧州気象衛星開発機構気象衛星会議 (EUMETSAT Meteorological Satellite Conference) 2024, ドイツ・ヴュルツブルク, R 6.9.28~10.6 ・ ベトナムでの降水予測改善のための熱帯亜熱帯域でのレーダーデータ同化研究打ち合わせ, ベトナム・ハノイ, R 7.3.5~8 |
| 石井雅男 | <ul style="list-style-type: none"> ・ GLODAP リファレンスグループ会議 2025, ベルギー・ブリュッセル, R 7.2.2~8 |
| 石島健太郎 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 大気観測 (JAL 機、シカゴ便), 米国・シカゴ, R 6.5.13~16 ・ 大気観測 (JAL 機、バンコク便), タイ・バンコク, R 6.7.31~8.1 ・ 第 16 回大気化学と地球汚染に関する委員会 (iCACGP) 第 18 回地球大気化学国際協同研究計画 (IGAC) 合同会議, マレーシア・クアラルンプール, R 6.9.8~14 ・ 大気観測 (JAL 機、シカゴ便), 米国・シカゴ, R 6.11.18~20 ・ 大気観測 (JAL 機、バンコク便), タイ・バンコク, R 7.2.12~13 |
| 石元裕史 | <ul style="list-style-type: none"> ・ IRS2024 会議, 中国・杭州, R 6.6.16~22 |
| 碓氷典久 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Ocean Predict Symposium, フランス・パリ, R 6.11.17~23 |
| 鵜沼昂 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 19 回国際雲・降水会議及び雲物理とレーダー観測の短期会合, 韓国・済州島, R 6.7.14~21 |
| 遠藤洋和 | <ul style="list-style-type: none"> ・ AOGS2024 会議参加, 韓国・平昌, R 6.6.23~28 ・ 105th American Meteorological Society (AMS) Annual Meeting, 米国・ニューオリンズ, R 7.1.13~18 ・ 第 8 回 WMO モンスーン国際会議への参加およびモンスーン研究打ち合わせ, インド・プネ, R 7.3.16~24 |
| 大河原 望 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 北極圏の雪氷圏変動メカニズム解明に資する放射観測機器の更新, ノルウェー・ニールスン, R 6.8.17~9.1 ・ NREL 赤外放射計比較 (WMO 絶対赤外放射計比較) 及び NREL 日射計比較, 米国・ゴールデン, R 6.9.22~10.6 |

- 大島 長
- ・第16回大気化学と地球汚染に関する委員会 (iCACGP) 第18回地球大気化学国際協同研究計画 (IGAC) 合同会議, マレーシア・クアラルンプール, R6.9.8~15
 - ・第10回世界気象機関 (WMO) 砂塵嵐警戒評価計画 (SDS-WAS) アジア地区運営委員会会合, インド・デリー, R6.9.22~26
 - ・気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第7次評価報告書スコーピング会合, マレーシア・クアラルンプール, R6.12.8~14
 - ・気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第62回総会, 中国・杭州, R7.2.23~3.2
- 太田 芳文
- ・衛星データ同化のための放射伝達モデルに関する国際ワークショップ, 中国・北京, R6.6.10~16
- 岡部いづみ
- ・AOGS2024 会議, 韓国・平昌, R6.6.23~29
- 岡本幸三
- ・WMO 観測インパクトワークショップ, スウェーデン・ノルケッピン, R6.5.25~6.1
 - ・欧州気象衛星開発機構気象衛星会議 (EUMETSAT Meteorological Satellite Conference) 2024, ドイツ・ヴュルツブルク, R6.9.28~10.6
- 折笠成宏
- ・国際雲・降水会議 (ICCP2024) 及び雲チェンバー研究に関するワークショップ, 韓国・済州島, R6.7.12~20
- 梶野瑞王
- ・ベルリン工科大での研究打合せおよび EGU2024, ドイツ・ベルリン/オーストリア・ウィーン, R6.4.11~21
 - ・AOGS2024 会議, 韓国・平昌, R6.6.23~29
 - ・マイクロ・ナノプラ排出インベントリ構築研究打合せ, 中国・香港, R6.7.15~18
 - ・インド工科大学デリー校でのエーロゾル雲相互作用に関する観測・モデル共同研究打合せ, インド・デリー, R6.9.18~21
 - ・ベルリン工科大学での研究打合せ, ドイツ・ベルリン, R6.9.24~10.23
 - ・インド工科大学デリー校で採取された大気試料の運搬とエーロゾル雲相互作用に関する観測・モデル共同研究打合せ, インド・デリー, R6.12.17~20
 - ・インド工科大学デリー校・ARIES 及び周辺の観測所視察とエーロゾル雲相互作用に関する山岳観測研究打合せ, インド・デリー/ソニパット/ナイニताल, R7.2.26~3.7
- 川合秀明
- ・雲フィードバックモデル相互比較プロジェクト (CFMIP) 会合, 米国・ボストン, R6.6.2~8
 - ・気象・気候予測におけるモデルの不確実性に関するワークショップ, 英国・オクスフォード, R6.9.21~28
- 川畑拓矢
- ・極端モンスーン気象の予測と成層圏-対流圏相互作用に関する国際ワークショップ, インド・プネ, R6.6.2~10
 - ・MeteoFrance との研究打ち合わせ及び WMO RDP Paris 年会, フランス・トゥールーズ/パリ, R6.11.20~30
- 高野洋雄
- ・バングラデシュ気象局への高潮予測技術指導, ダッカ・バングラデシュ, R7.2.15~3.1
- 酒井 哲
- ・105th American Meteorological Society (AMS) Annual Meeting, 米国・ニューオリンズ, R7.1.11~18

- 佐谷 茜 ・ Meteo France との研究打ち合わせ、パリ五輪研究デモンストレーション会合 (RDP Paris), フランス・トゥールーズ/パリ, R 6.11.20~30
- 澤 庸介 ・ 大気観測 (JAL 機、シカゴ便), 米国・シカゴ, R 6.7.22~24
 ・ 大気観測 (JAL 機、バンコク便), タイ・バンコク, R 6.9.2~3
 ・ 大気観測 (JAL 機、バンコク便), タイ・バンコク, R 6.12.5~6
- 嶋田 宇大 ・ 第 36 回ハリケーンと熱帯気象会議, 米国・ロングビーチ, R 6.5.5~12
 ・ 国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP) /世界気象機関 (WMO) 台風委員会 第 19 回統合ワークショップ (IWS)、アジア太平洋台風協働研究センター (AP-TCRC) フォーラム及び諮問作業部会 (AWG), 中国・上海, R 6.11.18~23
- 末木 健太 ・ 第 16 回メソ対流系に関する国際会議 (ICMCS-XVI), 韓国・慶州, R 6.10.13~18
- 関澤 偲温 ・ ArCS II ノルウェーとの連携強化事業最終ワークショップ, ノルウェー・ベルゲン, R 7.3.9~15
- 関山 剛 ・ エーロゾル予測のための国際協力(ICAP)第 14 回ワーキンググループ会合, 韓国・慶州, R 6.10.26~11.1
- 瀬戸 里枝 ・ AGU24 Annual Meeting, 米国・ワシントン D.C., R 6.12.8~14
- 田上 雅浩 ・ WMO 観測インパクトワークショップ, スウェーデン・ノルケッピング, R 6.5.25~6.1
 ・ AGU24 Annual Meeting, 米国・ワシントン D.C., R 6.12.8~15
- 高谷祐平 ・ 欧州地球科学連合大会 2024、科研費課題に関する意見交換、及び、WWRP SAGE プロジェクト運営委員会, オーストリア・ウィーン/英国・レディング, R 6.4.13~27
 ・ WMO 現業気候予測システム専門家チーム (ET-OCPS)・科研費の研究に関する意見交換, イタリア・ボローニャ, R 6.9.15~25
 ・ 世界気象機関 (WMO) 観測・インフラ・情報システム委員会 (インフラ委員会) 管理部会 (INFCOM-MG) 会合, スイス・ジュネーブ, R 6.9.29~10.6
 ・ 季節内から十年規模の気候予測作業部会第 26 回会合、WGSIP25 会議, フランス・トゥールーズ, R 6.11.3~10
 ・ WMO 統合処理・予測システム常設委員会(SC-WIPPS)リーダーズ会合, スイス・ジュネーブ, R 6.12.1~8
 ・ 105th American Meteorological Society (AMS) Annual Meeting, 米国・ニューオリンズ, R 7.1.12~18
 ・ 気候変動予測先端研究プログラムの研究に関する意見交換, 中国・珠海, R 7.2.10~14
 ・ 第 8 回 WMO モンスーン国際会議への参加およびモンスーン研究打ち合わせ, インド・プネ, R 7.3.16~24
- 田尻 拓也 ・ 国際雲・降水会議 (ICCP2024) 及び雲チェンバー研究に関するワークショップ, 韓国・済州島, R 6.7.12~20
- 谷川朋範 ・ 科研費・国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))共同研究推進, 米国・ホーボーケン, R 6.5.24~7.29
 ・ 北極圏の雪氷圏変動メカニズム解明に資する放射観測機器の更新, ノルウェー・ニールスン, R 6.8.17~9.1
 ・ "Understanding the impact of predicted changes in sea ice within the Sea of Okhotsk" meeting and workshop, 英国・ケンブリッジ, R 6.12.7~13

- 辻野 智紀 ・ 第 36 回ハリケーンと熱帯気象会議, 米国・ロングビーチ, R 6.5.4~12
 ・ 米国気象局国立ハリケーンセンターにおける熱帯低気圧の予警報プロダクトの作成
 及び開発業務に関する調査・意見交換, 米国・マイアミ, R 7.3.9~13
- 栃本英伍 ・ ベルゲン大学での共同研究実施, ベルゲン・ノルウェー, R 6.8.31~9.8
 ・ 第 20 回低気圧ワークショップ, カナダ・サンソヴェール, R 6.10.20~27
- 豊田隆寛 ・ "Understanding the impact of predicted changes in sea ice within the Sea of
 Okhotsk" meeting and workshop, 英国・ケンブリッジ, R 6.12.6~13
- 直江寛明 ・ Improved simulations of the stratosphere for better predictions of weather, climate
 and extreme events A joint QBOi - SNAP - QUOCA (QSQ) workshop, 英国・ケン
 ブリッジ, R 7.3.23~30
- 仲江川敏之 ・ JICA チェアプログラムによるパナマ工科大学への派遣 (理工学国際会議での全体会
 合招待講演とパナマ工科大学でのセミナー) 並びに科研費・国際共同研究加速基金 (海
 外連携研究) の推進, パナマ・パナマシティ, R 6.10.14~27
- 庭野匡思 ・ ISTA と GEUS での研究打ち合わせ, オーストリア・ウィーン/デンマーク・コペンハ
 ーゲン, R 6.6.2~8
- 野坂 真也 ・ AGU24 Annual Meeting, 米国・ワシントン D.C., R 6.12.8~14
- 林 豊 ・ 国連海洋科学の 10 年津波プログラム第 5 回科学委員会, フランス・パリ, R 7.1.15
 ~19
- 藤井陽介 ・ 国連海洋科学の 10 年国際会議, スペイン・バルセロナ, R 6.4.7~14
 ・ WMO 観測インパクトワークショップ, スウェーデン・ノルケッピング, R 6.5.25
 ~6.2
 ・ NOAA S2S ワークショップ参加, NOAA/NCEP&NASA/GMAO 訪問, 米国・ワシ
 ントン DC, R 6.9.1~9
 ・ Ocean Predict Symposium, フランス・パリ, R 6.11.17~24
 ・ Wyrтки Symposium 2025, 米国・ホノルル, R 7.3.11~16
- 藤田 遼 ・ 地球システム研究に関する国際共同研究プロジェクト合同会合 (Cross-VESRI)、数
 値モデリングに関するサマースクール (ICCS Summer School) への参加、科研費課
 題に関する共同研究・意見交換、第 11 回二酸化炭素国際会議 (ICDC11)、温室効果
 ガスの測定技術に関する国際会議 (GGMT2024), 英国・ケンブリッジ/ロンドンお
 よびブラジル・マナウス/サン・ジョゼ・ドス・カンポス, R 6.7.6~8.10
 ・ 大気観測 (JAL 機、シドニー便), オーストラリア・シドニー, R 6.9.30~10.2
 ・ 大気観測 (JAL 機、シカゴ便), 米国・シカゴ, R 6.10.15~17
- 広瀬成章 ・ Ocean Predict Symposium, フランス・パリ, R 6.11.17~22
- 堀田大介 ・ 第 8 回 ROM-SAF ユーザー・ワークショップ, 英国・レディング, R 6.6.9~15
 ・ Eugenia Kalnay 追悼シンポジウム, 米国・カレッジパーク, R 6.9.8~13
 ・ 世界気象機関 (WMO) 地球観測システムデザイン・開発専門家チーム (ET-EOSDE)
 第 1 回会合, スイス・ジュネーブ, R 6.12.3~8
 ・ 第二地区(RAII)地区基盤観測網(RBON)implementation ワークショップ, 中国・香
 港, R 7.2.16~21
 ・ 国立中央大学での偏波掩蔽に関するセミナー発表, 台湾・桃園, R 7.3.2~8
- 眞木貴史 ・ 第 11 回二酸化炭素国際会議, ブラジル・マナウス, R 6.7.26~8.5

- ・第10回世界気象機関（WMO）砂塵嵐警戒評価計画（SDS-WAS）アジア地区運営委員会会合，インド・デリー，R 6.9.22～26
- ・砂塵嵐警戒評価計画（SDS-WAS）全体運営委員会会合，サウジアラビア・リヤド，R 6.12.1～7
- 村田 昭彦
 - ・AOGS2024 会議，韓国・平昌，R 6. 6. 24～29
 - ・International Workshop on Developing Climate Change Scenarios for Viet Nam，ベトナム・ハノイ，R 6.11.20～23
- 山口宗彦
 - ・台風解析・予報に係る AI ワークショップ，中国・香港，R 6.5.20～23
 - ・国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）/世界気象機関（WMO）台風委員会 第19回統合ワークショップ（IWS）、アジア太平洋台風協働研究センター（AP-TCRC）フォーラム及び諮問作業部会（AWG）への出席，中国・上海，R 6.11.18～22
 - ・米国熱帯低気圧現業・研究フォーラム出席、および国際共同台風航空機観測に関する打ち合わせ，米国・フロリダ，R 7.3.2～9
- 吉田康平
 - ・Improved simulations of the stratosphere for better predictions of weather, climate and extreme events A joint QBOi - SNAP - QUOCA (QSQ) workshop，英国・ケンブリッジ，R 7.3.22～30
- 柳瀬 亘
 - ・第36回ハリケーンと熱帯気象会議，米国・ロングビーチ，R 6.5.5～12
 - ・第20回低気圧ワークショップ，カナダ・サンソヴェール，R 6.10.20～27

8.2. 受入研究員等

客員研究員

当所の研究の効率的な推進に資することを目的とし、当該研究に関する高度の専門知識を有し、当該研究を円滑に実施する能力がある研究者を客員研究員として受け入れている。令和6年度は次の23名を受け入れた。

岩切友希

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「階層的な地球システムモデリングに関する研究」

副課題「海洋及び大気海洋結合系のデータ同化に関する研究」、「週間から季節予報のための予測システム開発に関する研究」

経常研究「気候システム及び炭素・生物地球化学循環の解明・評価・予測に関する研究」

副課題「異常気象・気候変動やその予測可能性の解明・評価」

日本学術振興会特別研究員研究課題「熱帯気候変動の力学および季節予報モデルによる延長予測可能性」

受入研究部：全球大気海洋研究部

なれしゅ ごびんど がねし
Naresh Govind Ganeshi

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「階層的な地球システムモデリングに関する研究」

副課題「海洋及び大気海洋結合系のデータ同化に関する研究」、「週間から季節予報のための予測システム開発に関する研究」

経常研究「気候システム及び炭素・生物地球化学循環の解明・評価・予測に関する研究」

副課題「異常気象・気候変動やその予測可能性の解明・評価」

北極域研究加速プロジェクト（ArCSⅡ）「気象気候予測と予測手法の高度化」課題

受入研究部：全球大気海洋研究部

相澤拓郎

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：北極域研究加速プロジェクト（ArCSⅡ）「北極大気環境研究」課題

受入研究部：全球大気海洋研究部

牛島悠介

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：気候変動予測先端研究プログラム 領域課題3「日本域における気候変動予測の高度化」

受入研究部：全球大気海洋研究部

萩野谷成徳

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「大気の物理過程の解明と物理過程モデルの開発に関する研究」

受入研究部：気象予報研究部

毛利英明

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「大気の物理過程の解明と物理過程モデルの開発に関する研究」

受入研究部：気象予報研究部

村上正隆

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「大気の物理過程の解明とモデル化に関する研究」

副課題「実験観測に基づくエアロゾル・雲・降水微物理素過程モデリングの改良」

国交省交通運輸技術開発推進制度「ジェットエンジン出力停止及び航法計器異常を引き起こす高濃度氷晶雲の実態把握と検出法・予測法開発に関する基礎的研究」

ムーンショット目標8コア研究「安全で豊かな社会を目指す台風制御研究」研究課題「室内実験による Microphysics スキームの構築」

受入研究部：気象予報研究部

内山明博

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「データ同化技術と観測解析技術の高度化に関する研究」

副課題「衛星データの同化及びリモートセンシング技術の高度化」

受入研究部：気象観測研究部

小司禎教

期 間：R6.8.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「データ同化技術と観測解析技術の高度化に関する研究」

副課題「顕著現象の実況監視とメカニズム解明・予測のための地上リモートセンシング技術の開発」

共同研究「日本域4次元高機能気象データの整備及び気象データの利活用研究の推進」

受入研究部：気象観測研究部

呉 品穎(Wu Pin-Ying)

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「データ同化技術と観測データの高度利用に関する研究」

副課題「メソスケール高解像度同化システム及びアンサンブル摂動作成法の改良」

受入研究部：気象観測研究部

齊藤和雄

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「データ同化技術と観測データの高度利用に関する研究」

副課題「メソスケール高解像度同化システム及びアンサンブル摂動作成法の改良」

受入研究部：気象観測研究部

露木 義

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「データ同化技術と観測解析技術の高度利用に関する研究」

副課題「次世代メソスケールデータ同化およびアンサンブルシステムの高度化」

受入研究部：気象観測研究部

る でいく
Le Duc

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「データ同化技術と観測データの高度利用に関する研究」

副課題「メソスケール高解像度同化システム及びアンサンブル摂動作成法の改良」

文部科学省「富岳」成果創出加速プログラム「防災・減災に資する新時代の大アンサンブル気象・大気環境予測」

受入研究部：気象観測研究部

石原正仁

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「台風・線状降水帯等の顕著現象の機構解明と監視予測技術の高度化に関する研究」

副課題「顕著現象を捉える基盤的な観測・解析技術の研究」

受入研究部：台風・災害気象研究部

小林隆久

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「台風・線状降水帯等の顕著現象の機構解明と監視予測技術の高度化に関する研究」

副課題「顕著現象を捉える基盤的な観測・解析技術の研究」

受入研究部：台風・災害気象研究部

新井健一郎

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「台風・線状降水帯等の顕著現象の機構解明と監視予測技術の高度化に関する研究」

副課題「顕著現象のリアルタイム検出・予測技術とその利用に向けた研究開発」

共同研究（JR 東日本）「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための災害気象の監視・予測手法の開発」

受入研究部：台風・災害気象研究部

石津尚喜

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「台風・線状降水帯等の顕著現象の機構解明と監視予測技術の高度化に関する研究」

副課題「顕著現象の自動探知・直前予測技術のための研究開発」

共同研究（JR 東日本）「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための災害気象の監視・予測手法の開発」

受入研究部：台風・災害気象研究部

鈴木 修

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「台風・線状降水帯等の顕著現象の機構解明と監視予測技術の高度化に関する研究」

副課題「顕著現象のリアルタイム検出・予測技術とその利用に向けた研究開発」

受入研究部：台風・災害気象研究部

藤原忠誠

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「台風・線状降水帯等の顕著現象の機構解明と監視予測技術の高度化に関する研究」

副課題「顕著現象のリアルタイム検出・予測技術とその利用に向けた研究開発」

共同研究（JR 東日本）「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための災害気象の監視・予測手法の開発」

受入研究部：台風・災害気象研究部

岡田靖子

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「気候システム及び炭素・生物地球化学循環の解明・評価・予測に関する研究」

副課題「地球温暖化に伴う気候変動・極端減少変化のメカニズム解明と将来予測」

受入研究部：気候・環境研究部

楠 昌司

期 間：R6.11.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「気候システム及び炭素・生物地球化学循環の解明・評価・予測に関する研究」

副課題「地球温暖化に伴う気候変動・極端現象変化のメカニズム解明と将来予測」

受入研究部：気候・環境研究部

初塚大輔

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：気候変動予測先端研究プログラム 領域課題3「日本域における気候変動予測の高度化」

受入研究部：応用気象研究部

も っ ど さ ふ ぁ り む は ん ま ど あ す ら む
MOHD SAFARI Muhammad Aslam

期 間：R6.7.1～R7.6.30

研究課題名：経常研究「気象・気候予測の社会経済活動への高度利用に関する研究」

受入研究部：応用気象研究部

リサーチアソシエイト

当該研究に関する高度な専門知識を有し、当所研究の効率的な推進に資することを目的とし、人材派遣会社との契約により気象研究所に派遣される研究支援者のうち、所長の承認を受けた者について「リサーチアソシエイト」の呼称を用いることができるとしている。令和6年度は次の9名（9案件）について承認した。

渡辺泰士

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「階層的な地球システムモデリングに関する研究」

受入研究部：全球大気海洋研究部

郭 威鎮

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：経常研究「大気の物理過程の解明と物理過程モデルの開発に関する研究」

受入研究部：気象予報研究部

増田一彦

期 間：R6.4.22～R6.6.28、R6.7.1～R7.3.31

研究課題名：科学研究費助成事業（国際共同研究加速基金）「海水放射伝達モデルと衛星観測の複合利用による気候モデル用海水放射スキームの高度化」

受入研究部：気象予報研究部

永井智広

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：科学研究費助成事業「豪雨早期予測に向けた船舶搭載型水蒸気・風観測ライダーの開発と海上実証実験」

受入研究部：気象観測研究部

内野 修

期 間：R6.4.1～R7.3.31

研究課題名：科学研究費助成事業「豪雨早期予測に向けた船舶搭載型水蒸気・風観測ライダーの開発と海上実証実験」

受入研究部：気象観測研究部

北村佳照

期 間：R6.7.1～R7.3.31

研究課題名：環境研究総合推進費「気候変動緩和に向けた温室効果ガスおよび大気質関連物質の監視に関する総合的研究」

受入研究部：気候・環境研究部

石崎 廣

期 間：R6.7.1～R7.3.31

研究課題名：科学研究費助成事業「大気と海洋の波動エネルギー循環のシームレス解析による熱帯・中緯度相互作用の解明」、「オホーツク海が日本の気象・気候を決める」、「急峻山岳と海洋が接する沿岸山岳域の大気海洋相互作用:山岳気象学と沿岸海洋学の融合」、「海洋モデルの高度化に資する海氷内部の光環境の解明」

受入研究部：気候・環境研究部

尾瀬智昭

期 間：R6.4.1～R6.6.30

研究課題名：科学研究費助成事業「梅雨と秋雨の過去年間の長期変動の実態とメカニズムの解明」

受入研究部：気候・環境研究部

期 間：R6.7.1～R7.3.31

研究課題名：環境研究総合推進費「日本・アジア太平洋地域の将来変化に関わる複合的な極端気象・気候現象の定量化と理解」

受入研究部：応用気象研究部

鬼頭昭雄

期 間：R6.4.1～R6.6.30

研究課題名：科学研究費助成事業「地球温暖化による大雨の頻度・強度変化の機構解明」

受入研究部：気候・環境研究部

期 間：R6.7.1～R7.3.31

研究課題名：環境研究総合推進費「日本・アジア太平洋地域の将来変化に関わる複合的な極端気象・気候現象の定量化と理解」

受入研究部：応用気象研究部

8.3. 海外研究機関等からの来訪者等

招聘研究者受け入れ

Mr. Hugo Hidlgo（コスタリカ大学）

期 間：令和6年6月3日～7月31日

用 務：大規模アンサンブル実験の解析によるコスタリカ域の熱帯低気圧経路への地球温暖化影響の定量化と要因解明に関する研究

担当研究者：仲江川敏之（応用気象研究部）

Mr. Mohan Kumar Shanmugam（タミル・ナドゥ農業大学）

期 間：令和6年8月27日～10月11日

用 務：インド南部における地域気候モデルによる現在気候の再現と将来気候変化予測に関する研究

担当研究者：村田明彦（応用気象研究部）

Mr. Régis DUPUY（フランス国立科学研究センター(Centre National de la Recherche Scientifique; CNRS), クレルモンオーベルニュ大学(Université Clermont Auvergne; UCA))

期 間：令和6年8月26日～令和7年7月1日

用 務：数値モデル開発のための日仏の山岳観測によるエアロゾル雲相互作用研究に関する共同研究

担当研究者：梶野瑞王（全球大気海洋研究部）

Mr. Jules Finot（フランス気象局附属国立気象学学校(Ecole Nationale de la Meteorologie (ENM))）

期 間：令和6年6月12日～9月16日

用 務：NHM-LETKFのパラメータ最適化やアンサンブルシミュレーションの実行・解析に関する研究

担当研究者：川畑拓矢（気象観測研究部）

Ms. Catherine Thomas（米国商務省海洋大気庁（NOAA））

期 間：令和6年10月28日～10月29日

用 務：データ同化研究に関する講演と議論

担当研究者：川畑拓矢（気象観測研究部）

Mr. Jason E. Box（デンマーク・グリーンランド地質調査所）

期 間：令和7年1月14日～2月1日

用 務：IASC（国際北極科学委員会）氷河研究に関するミーティングおよび氷河のダイナミクスと質量収支に関するワークショップ（ニセコ）への参加・発表

担当研究者：庭野匡思（気象予報研究部）

Mr. Matthew Matsuyama（米国国土安全保障省連邦緊急事態管理庁（FEMA））

期 間：令和6年11月25日～11月28日

用 務：第28期マンスフィールド研修

担当研究者：大泉伝（気象予報研究部）

JICA 研修受け入れ

令和6年度 国別研修「気象レーダー活用による気象観測及び予警報能力強化プロジェクト」

研 修 生：スリランカ（7名）

受 入 期 間：令和6年7月18日

対応研究者：山内 洋、梅原章仁（台風・災害気象研究部）

令和6年度 課題別研修「気候変動への適応」

研 修 生：コンゴ、エジプト、エチオピア、ヨルダン、パキスタン、フィリピン、サモア、ソマリア、スリランカ、ツバル、バヌアツ（各1名）

受 入 期 間：令和6年9月10日

対応研究者：須田一人（気候・環境研究部）

令和6年度 課題別研修「気象業務能力向上」

研 修 生：サモア、ベトナム、東ティモール、タイ、モザンビーク、アルゼンチン、スリランカ、ジブチ、バングラデシュ、フィリピン（各1名）、モルディブ（2名）

受 入 期 間：令和6年10月22日、12月6日

対応研究者：足立 透、山内 洋、荒木健太郎（台風・災害気象研究部）、
保坂征宏（気候・環境研究部）、足立光司（全球大気海洋研究部）、
西橋政秀、及川栄治（気象観測研究部）

令和6年度 課題別研修「気候資金アクセス強化－実務家向けの理論と実践」

研 修 生：バングラデシュ、カメルーン、クック諸島、フィジー、ジャマイカ、ケニア、キルギス、ネパール、パキスタン、パレスチナ、スリランカ、ツバル（各1名）、エチオピア（2名）

受 入 期 間：令和7年1月20日

対応研究者：保坂征宏（気候・環境研究部）

その他研修受け入れ

マレーシア気象局「潮位データ利用研修」

研 修 生：マレーシア（3名）

受 入 期 間：令和7年2月6日～7日

対応研究者：高野洋雄（応用気象研究部）、林 豊、対馬弘晃、南 雅晃（地震津波研究部）

9. 委員・専門家等

ここでは、令和6年度に気象研究所の職員が外部機関から委嘱を受けた委員・専門家等（令和5年度以前から継続しているものも含む）について、個人別に五十音順で掲載している。

9. 1. 国際機関の委員・専門家等

足立光司	・日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 Future Earth (FE)・世界気候研究計画 (WCRP) 合同分科会 IGAC 小委員会 委員
石井憲介	・気象・気候・水文・海洋・環境サービス及び応用委員会 (SERCOM) * 航空サービス常設委員会 (SC-AVI) 火山科学・応用諮問部会 (AG-VSA) メンバー
石井雅男	・全球海洋観測システム (GOOS) 全球気候観測システム (GCOS)・全球海洋観測システム (GOOS) 全球船舶海洋観測研究プログラム (GO-SHIP) 推進委員会 委員 ・北太平洋海洋科学機関気候・炭素部会 (PICES S-CC) 委員 ・G7 海洋の未来イニシアティブ (FSOI) ワーキンググループ 委員
石原幸司	・台風委員会 (TC) * 作業部会 研修・研究作業部会 ・台風委員会 (TC) * 作業部会 諮問作業部会 副議長
碓氷典久	・ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 海洋解析・予報システムに関する国際的な枠組み (OceanPredict) データ同化タスクチーム メンバー
梅原章仁	・観測・インフラ・情報システム委員会 (INFCOM) * 計測・追跡可能性・測器常設委員会 (SC-MINT) 現業気象レーダー専門家チーム (JET-OWR) メンバー
浦川昇吾	・世界気候研究計画 (WCRP) * 合同科学委員会 (JSC) Climate and Ocean Variability, Predictability and Change (CLIVAR) 海洋モデル開発パネル (CLIVAR/OMDP) 委員
大河原 望	・観測・インフラ・情報システム委員会 (INFCOM) * 計測・追跡可能性・測器常設委員会 (SC-MINT) 放射参照専門家チーム (ET-RR) メンバー ・国際標準化機構 (ISO) 太陽エネルギーに関する技術委員会 (TC180) 気象測定及びデータに関する小委員会 (SC1) 第4作業部会 (WG4) メンバー
大島 長	・全球大気監視 (GAW) 計画* 砂塵嵐警戒評価システム (SDS-WAS) 運営委員会 アジア地区運営グループ (RSG) S2S 予測に関する作業グループ メンバー ・日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 Future Earth (FE)・世界気候研究計画 (WCRP) 合同分科会 IGAC 小委員会 委員 ・北極評議会／北極圏監視評価プログラム (AMAP) 作業部会/短寿命気候強制因子専門家会合グループメンバー
岡本幸三	・WMO 全球統合観測システム (WIGOS) * 定期要件審査 (RRR: Rolling Requirements Review) における全球数値予報分野のコンタクトポイント CP
折笠成宏	・世界気象研究計画 (WWRP) * WWRP 科学運営委員会 (SSC) 気象改変研究に関する専門家チーム (ET-WxMOD) メンバー
梶野瑞王	・全球大気監視 (GAW) 計画* 砂塵嵐警戒評価システム (SDS-WAS) 運営委員会 アジア地区運営グループ (RSG) モデル相互比較に関する作業グループ メンバー

- 高野洋雄
- ・気象・気候・水文・海洋・環境サービス及び応用委員会 (SERCOM) * 海上気象・海洋サービス常設委員会 (SC-MMO) メンバー
 - ・気象・気候・水文・海洋・環境サービス及び応用委員会 (SERCOM) * 海上気象・海洋サービス常設委員会 (SC-MMO) 沿岸危機対応専門家チーム (ET-CER) メンバー
 - ・気象・気候・水文・環境サービス及び応用委員会 (SERCOM) * 防災・公共サービス常設委員会 (SC-DRR) MHEWS 相互運用環境専門家チーム (ET-MIE) メンバー
 - ・世界気象研究計画 (WWRPP) * WWRP 科学運営委員会 (SSC) 熱帯気象研究熱帯低気圧パネル 熱帯低気圧上陸過程に関する専門家チーム メンバー
 - ・第II地区協会 (RAII) * 気象・気候・水・環境サービス及び応用作業部会 (WG Services) 海洋サービス専門家チーム リーダー
- 酒井 哲
- ・観測・インフラ・情報システム委員会 (INFCOM) * 計測・追跡可能性・測器常設委員会 (SC-MINT) 高層気象観測専門家チーム (ET-UAM) メンバー
- 澤 庸介
- ・日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 Future Earth (FE)・世界気候研究計画 (WCRP) 合同分科会 IGAC 小委員会 委員
- 嶋田宇大
- ・台風委員会 (TC) * 作業部会 研修・研究作業部会
- 関山 剛
- ・全球大気監視 (GAW) 計画* 砂塵嵐警戒評価システム (SDS-WAS) 運営委員会 アジア地区運営グループ (RSG) データ同化に関する作業グループ メンバー
 - ・日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 Future Earth (FE)・世界気候研究計画 (WCRP) 合同分科会 IGAC 小委員会 委員
- 高谷祐平
- ・観測・インフラ・情報システム委員会 (INFCOM) * 地球システムモデリング予測常設委員会 (SC-ESMP) メンバー
 - ・世界気象研究計画 (WWRP) * WWRP 科学運営委員会 (SSC) 農業と環境プロジェクトのための S2S アプリケーション (SAGE) メンバー
 - ・世界気候研究計画 (WCRP) * 合同科学委員会 (JSC) Earth System Modelling and Observations (ESMO) 季節内から十年規模の気候予測作業部会 (WGSIP)
 - ・日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 Future Earth (FE)・世界気候研究計画 (WCRP) 合同分科会 GEWEX 小委員会 委員
- 対馬弘晃
- ・国際津波委員会 委員及びワーキンググループ メンバー
- 仲江川敏之
- ・気象・気候・水文・海洋・環境サービス及び応用委員会 (SERCOM) * 気候サービス常設委員会 (SC-CLI) 社会的利益のための調整気候情報専門家チーム (ET-CID) メンバー
 - ・国際気象学・大気科学協会 気候国際委員会 委員
 - ・日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 Future Earth (FE)・世界気候研究計画 (WCRP) 合同分科会 GEWEX 小委員会 委員
- 庭野匡思
- ・欧州地球科学連合 (EGU) The Cryosphere 誌 編集委員
- 平原翔二
- ・ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 海洋解析・予報システムに関する国際的な枠組み (OceanPredict) 結合予測タスクチーム メンバー
- 藤井陽介
- ・全球海洋観測システム (GOOS) 熱帯太平洋観測システム (TPOS2020) 科学アドバイザー委員会 委員

- ・ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 海洋解析・予報システムに関する国際的な枠組み (OceanPredict) 科学運営委員会 (OPST) 委員
- ・ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 海洋解析・予報システムに関する国際的な枠組み (OceanPredict) 観測システム評価タスクチーム 共同議長
- ・ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 国連海洋科学 10 年 研究プログラム ForeSea 運営委員会 委員
- ・ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 国連海洋科学 10 年 研究プロジェクト SynObs 運営委員 共同議長
- ・ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 国連海洋科学 10 年 研究プログラム CoastPredict 運営委員会 委員
- 堀田大介
 - ・観測・インフラ・情報システム委員会 (INFCOM) * 地球観測システム・監視ネットワーク常設委員会 (SC-ON) 地球観測システムデザイン・開発合同専門家チーム (JET-EOSDE) メンバー
- 山内 洋
 - ・観測・インフラ・情報システム委員会 (INFCOM) * 計測・追跡可能性・測器常設委員会 (SC-MINT) 現業気象レーダー専門家チーム (JET-OWR) 副議長
- 眞木貴史
 - ・全球大気監視 (GAW) 計画* 砂塵嵐警戒評価システム (SDS-WAS) 運営委員会 委員
 - ・全球大気監視 (GAW) 計画* 砂塵嵐警戒評価システム (SDS-WAS) 運営委員会 アジア地区運営グループ (RSG) 議長
- 水田 亮
 - ・日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 Future Earth (FE)・世界気候研究計画 (WCRP) 合同分科会 CLIVAR 小委員会 委員
- 村田昭彦
 - ・世界気候研究計画 (WCRP) * 合同科学委員会 (JSC) Regional Information for Society (RIfS) Working group on Building Blocks (BB1) メンバー
- 山中吾郎
 - ・ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 海洋解析・予報システムに関する国際的な枠組み (OceanPredict) 科学運営委員会 (OPST) 委員
 - ・ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 海洋解析・予報システムに関する国際的な枠組み (OceanPredict) 現業システム作業部会 (OPOS-WG) メンバー

* 世界気象機関 (WMO) に属する委員会等

9. 2. 国内機関の委員・専門家等

足立 透	・日本気象学会 第43期気象災害委員会 委員 ・京都大学生存圏研究所 生存圏フォーラム運営委員
荒木健太郎	・三重大学 協力研究員（リサーチフェロー） ・防災科学技術研究所 客員研究員 ・雪氷研究大会実行委員会 委員 ・日本気象学会 第43期気象研究ノート編集委員会 委員 ・茨城県教育委員会 いばらき教育アドバイザー
幾田泰醇	・JAXA 宇宙航空研究開発機構 EarthCARE 分科会・PMM 分科会メンバー
石井雅男	・海洋研究開発機構 研究航海検討委員会アドバイザー ・海洋研究開発機構 IOC 協力推進委員会海洋観測・気候変動国内専門部会 委員 ・科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業チーム型研究（CREST）領域アドバイザー ・リモート・センシング技術センター IPCC WG1 国内幹事会 幹事 ・東北大学 博士学位論文審査委員
石井正好	・筑波大学 生命環境系 教授（連携大学）
石島健太郎	・国立環境研究所 客員研究員 ・国立環境研究所 温室効果ガス観測技術衛星2号サイエンスチーム 委員
石元裕史	・JAXA 宇宙航空研究開発機構 EarthCARE 分科会メンバー
井上卓也	・日本気象学会 講演企画委員会 委員
岩田 歩	・日本エアロゾル学会若手会 幹事 ・大気環境学会 AJAE 委員会 委員
遠藤洋和	・日本気象学会 第43期松野賞候補者推薦委員会 委員 ・日本気象学会 第43期気象研究ノート編集委員会 委員
及川栄治	・レーザセンシング学会 編集員、運営審議会 委員
大島 長	・日本気象学会 第43期天気編集委員会 委員
太田琢磨	・気象業務支援センター 気象予報士試験員会議部会員
岡本幸三	・JAXA 宇宙航空研究開発機構 EarthCARE 分科会・PMM 分科会・AMSR 分科会メンバー ・日本気象学会 学術委員、学術委員会地球観測衛星部会部会員 ・レーザセンシング学会 衛星搭載ライダーに関するプロジェクト調査委員会 委員
小木曾 仁	・日本地震学会 地震編集委員会 委員
奥山 哲	・日本測地学会 評議員、編集委員会 委員
鬼澤真也	・日本火山学会 理事、事業委員会 委員、大会委員会 委員、財務基盤改善委員会 委員
梶野瑞王	・総合地球環境学研究所 共同研究員 ・筑波大学 生命環境系 教授（連携大学） ・東京農工大学 非常勤講師 ・日本分析センター 大気環境における放射性物質の常時監視に関する評価検討会 委員

	・日本エアロゾル学会 常任理事、エアロゾル研究編集員
加藤輝之	・土木学会西部支部 「第23回都市水害に関するシンポジウム講演論文集」編集委員会幹事
	・日本気象学会 第43期地球環境問題委員会 委員、第43期気象災害委員会 委員
川合秀明	・JAXA 宇宙航空研究開発機構 EarthCARE 分科会 メンバー
	・日本気象学会 第43期気象集誌編集委員会 委員
川瀬宏明	・防災科学技術研究所 客員研究員
	・三菱総合研究所 気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会 委員
	・日本気象学会 監事、第43期気象集誌編集委員会 委員
	・雪氷研究大会実行委員会 委員
川畑拓矢	・神戸大学 客員教授
	・筑波大学 非常勤講師
	・日本気象学会 第43期気象集誌編集委員会 委員
	・高度情報科学技術研究機構 利用研究課題審査委員会レビューアー
川端康弘	・横浜国立大学 非常勤講師 (IMS 客員研究員)
楠 研一	・産学官テーマ推進委員会 産学官テーマ推進委員
	・日本気象学会 第43期講演企画委員会 委員
工藤 玲	・JAXA 宇宙航空研究開発機構 EarthCARE 分科会・PMM 分科会メンバー
小寺祐貴	・日本地震学会 広報委員会 委員
小林ちあき	・日本地球惑星科学連合 プログラム委員会 委員
	・日本気象学会 第43期 SOLA 編集委員会 委員
近藤圭一	・日本気象学会 松野賞候補者推薦 委員
高野洋雄	・日本エヌ・ユー・エス株式会社 (環境省) 「気候変動の影響に関する WG」自然災害・沿岸域分野 WG メンバー
酒井 哲	・レーザセンシング学会 理事、衛星搭載ライダーに関するプロジェクト調査委員会委員
	・国立環境研究所 客員研究員
	・宇宙開発研究機構 大気浮遊物質検知ライダー実用化検討委員会委員
澤庸介	・国立産業技術総合研究所 客員研究員
	・国立環境研究所 客員研究員、令和6年度地球システム領域地球環境研究センター運営委員会 委員
	・JAL 財団 第4期航空機による地球環境観測推進委員会 委員
嶋田宇大	・横浜国立大学 非常勤講師 (IMS 客員准教授)
	・宇宙航空研究開発機構 PMM 分科会メンバー
	・日本気象学会 第43期松野賞候補者推薦委員会 委員
末木健太	・理化学研究所 客員研究員
関澤 温	・東京大学先端科学技術開発センター 客員研究員
	・日本気象学会 ACM (日中韓気象学会) 実行委員、教育と普及委員
関山 剛	・東京大学先端科学技術研究センター 客員上級研究員
	・宇宙航空研究開発機構 EarthCARE 分科会 メンバー
	・日本気象学会 学術委員会放射能汚染対策部会員

瀬古 弘	・名古屋大学 博士学位審査委員
瀬戸里枝	・東京工業大学 特別研究員
高木朗充	・静岡大学 客員教授
	・日本火山学会 将来計画委員会 委員、70 周年記念事業における学会誌「火山」特集号編集委員会 委員、財務基盤改善委員会 委員
高槻 靖	・気象業務支援センター 試験員会議 一般知識作問部会 部会員、気候変動予測先端研究プログラム領域課題 研究運営委員会 委員
	・海洋研究開発機構 技術開発部評価助言委員会 委員
高谷祐平	・日本気象学会 第 43 期 SOLA 編集委員会 委員
谷川朋範	・宇宙航空研究開発機構 SGLI 分科会メンバー、地球観測研究公募査読委員
	・雪氷研究大会実行委員会 委員
辻野智紀	・日本気象学会 第 43 期気象集誌編集委員、松野賞候補者推薦委員
辻野博之	・気象業務支援センター 研究推進部第一研究推進室長
	・東京大学大気海洋研究所 共同研究運営委員会 委員、文部科学省 研究運営委員会 委員
	・リモートセンシング技術センター IPCC 第 1 作業部会国内幹事会 幹事
	・海洋研究開発機構 気候予測シミュレーション技術の研究開発運営委員会 委員
対馬弘晃	・国際津波委員会 国際津波委員会委員・ワーキンググループメンバー
	・防災科学技術研究所 南海トラフ海底地震津波観測網の整備に関する技術委員会 専門委員
出牛 真	・日本気象学会 第 43 期講演企画委員会 委員
	・国立環境研究所 スーパーコンピュータ研究利用専門委員会 委員
寺崎康児	・理化学研究所 客員研究員
栃本英伍	・日本気象学会 第 43 期気象集誌編集委員会 委員
仲江川敏之	・京都大学防災研究所 ハザード統合予測モデルの開発に係る運営委員会 委員
	・京都大学 気候変動適応研究センター運営協議会 委員
	・日本エヌ・ユー・エス株式会社 「気候変動の影響に関する WG」水環境・水資源分野 WG メンバー
	・三菱総合研究所 気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会 委員
	・水文・水資源学会 国際誌編集委員会 編集委員
中本能久	・日本気象学会 2024 年度日本気象学会秋季大会 大会委員長
	・宇宙航空研究開発機構 地球観測に関する科学アドバイザー委員会 委員
西橋政秀	・日本気象学会 気象災害委員会 委員
庭野匡思	・国立極地研究所 客員教員（客員准教授）、南極観測アドバイザー、運営会議共同利用審議委員会特別共同研究分科会 委員
	・欧州地球科学連合（EGU） The Cryosphere 誌 編集委員
	・宇宙航空研究開発機構 「2024 年度 しきさい衛星アウトカム進捗報告会」委員
	・防災科学技術研究所 客員研究員
	・日本気象学会 第 43 期 SOLA 編集委員会 委員
橋本明弘	・防災科学技術研究所 客員研究員
	・雪氷研究大会実行委員会 委員

	・北海道大学 松野賞候補者推薦委員
林 修吾	・日本気象学会 第43期天気編集委員会 委員、第43期気象災害委員会 委員 ・日本大気電気学会 選挙管理委員 ・防災学術連携体 防災連携委員
原田やよい	・日本学術会議 第43期理事、企画調整委員会 委員、講演企画委員会 委員長
廣川康隆	・日本気象学会 第43期企画調整委員会 委員、講演企画委員会 委員
弘瀬冬樹	・地震予知総合研究振興会 地震活動からの地震発生予測手法に関する検討会 委員
福井 真	・東北大学大学院理学研究科 客員研究者 ・日本気象学会 第43期講演企画委員会 委員 ・東北大学 博士学位論文審査委員
藤井陽介	・科学技術振興機構 経済安全保障重要技術育成プログラムにおける分科会 委員 ・総合研究大学院 博士論文審査委員 ・統計数理研究所 客員准教授
藤田 匡	・日本気象学会 第43期学術委員会 委員・学術委員会データ利用部会部会員
藤田 遼	・国立環境研究所 客員研究員
干場充之	・日本地震学会 2024年度通常代議員
眞木貴史	・日本環境衛生センター 黄砂問題検討会委員検討委員 ・東京大学大気海洋研究所 二酸化炭素排出量推定モデルの開発と定量的精度評価アドバイザー ・国立環境研究所 令和6年度将来温室効果ガス観測ミッション構想に関する有識者会議・委員
益子 涉	・防災科学技術研究所 大型降雨実験施設運用委員会 委員 ・日本気象学会 第43期講演企画委員会 委員
水田 亮	・日本気象学会 第43期気象集誌編集委員会 委員
村田昭彦	・日本エヌ・ユー・エス株式会社、「気候変動の影響に関するワーキンググループ」に関する委員、気候変動適応策のPDCA手法検討委員 ・日本気象学会 2024年度日本気象学会秋季大会 大会実行委員会 委員長
谷口無我	・日本火山学会 編集委員会 委員
柳瀬 亘	・日本気象学会 松野賞候補者推薦委員会 委員
山口宗彦	・横浜国立大学 非常勤講師（IMS 客員准教授） ・日本気象学会 第43期生野賞候補推薦委員会 委員、第43期学術委員会航空機観測に関する検討部会部会員
山中吾郎	・トップランナー育成コンソーシアム プログラム強化委員会・アドバイザーボード委員
山崎明宏	・福岡大学福岡から診る大気環境研究所 客員教授
吉田康宏	・日本地震学会 ジオパーク支援委員会 委員
吉田 智	・神戸大学 客員准教授 ・音羽電気工業株式会社 雷写真コンテスト審査委員
渡邊俊一	・日本気象学会 第43期講演企画委員会 委員 ・気象業務支援センター 気象予報士試験員会議部会員

「気候変動予測先端研究プログラム」に関しては、研究運営委員会委員のみ記載しております。

気象研究所年報（令和6年度）

編集・発行 気象庁 気象研究所
〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1
URL : <https://www.mri-jma.go.jp>
